

注3

大学番号：私205

[平成27年度設置]

計画の区分：大学院の設置

注1

認可

聖泉大学大学院 看護学研究科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人聖泉学園  
平成27年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部(平成◇◇年度より変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」  
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人聖泉学園

## (2) 大学名

聖泉大学大学院

## (3) 大学の位置

〒521-1123  
滋賀県彦根市肥田町 720

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シミズ ツタオ) 清水 傳雄 (平成18年4月)		
学長	(ツツイ サチコ) 筒井 裕子 (平成24年4月)		
研究科長		(オオタ セツコ) 太田 節子 (平成27年4月)	認可後に研究科長人事を行ったため(27)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)  
平成27年度に報告する内容 → (27)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の博士後期課程の場合(平成27年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
看護学研究科 看護学専攻 (修士課程) 修士(看護学)	2年	6人	12人	基礎となる学部等  看護学部 看護学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	6 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	6 ( ) [ ]	— ( ) [ ]			1.00倍	— 倍	
志願者数	7 (5) [ ]	— (—) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]					
受験者数	7 (5) [ ]	— (—) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]					
合格者数	7 (4) [ ]	— (—) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]					
B 入学者数	6 (3) [ ]	— (—) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]					
入学定員超過率 B/A	1.00								

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 6	[ - ] ( ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		
計	[ - ] ( - ) 6	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	6 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	6 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学者数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学  
                   ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	共通科目	人類科学	2前		2		1					履修希望者がいなかったため (27)
		機能形態学	<del>1後</del> 未開講		2		1					
		発達心理学	1後		2						兼1	
		コンサルテーション論	1前		2						兼1	
		看護管理	2前		2						兼2	
		看護政策論	2		2						兼1	
		研究方法論Ⅰ	1前	2			1				兼1	
		研究方法論Ⅱ	1後	2			2				兼2	
		災害看護学	2前		2		1			1	兼1	
		看護倫理	1前	2			1					
		看護理論	1前	2			1					
		家族看護学	1後		2		1				兼1	
		国際看護学	2前		2					1	兼1	
		原書講読Ⅰ	1前	1						1		
原書講読Ⅱ	1後		1					1				
リーダーシップ論	1前	1						1	兼1			
専門科目	看護基礎分野	看護ケア開発特論Ⅰ	1前		2						履修希望者がいなかったため (27)	
		看護ケア開発特論Ⅱ	<del>1後</del> 未開講		2							
		看護ケア開発特論演習	<del>1後</del> 未開講 1後～2前		2							
	看護教育学分野	看護教育学特論Ⅰ	1前		2							
		看護教育学特論Ⅱ	1後		2							
		看護教育学特論演習	1後～2前		2							
	看護実践分野	発達支援看護学領域	発達支援看護学特論Ⅰ	1前		2						
			発達支援看護学特論Ⅱ	1後		2						
			発達支援看護学特論演習	1後～2前		2						
		生活支援看護学領域	生活支援看護学特論Ⅰ	1前		2						
			生活支援看護学特論Ⅱ	1後		2						
			生活支援看護学特論演習	1後～2前		2						
	地域・精神保健看護学領域	地域・精神保健看護学特論Ⅰ	1前		2							
		地域・精神保健看護学特論Ⅱ	1後		2							
地域・精神保健看護学特論演習		1後～2前		2								
特別研究	特別研究	2通	8			10	3					

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 7	科目 25	科目 0	科目 32	科目 7	科目 25	科目 0	科目 32	
				[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
	校 舎 敷 地	21,049㎡	0㎡	0㎡	21,049㎡			
	運 動 場 用 地	8,663㎡	0㎡	0㎡	8,663㎡			
	小 計	29,712㎡	0㎡	0㎡	29,712㎡			
	そ の 他	4,225㎡	0㎡	0㎡	4,225㎡			
	合 計	33,937㎡	0㎡	0㎡	33,937㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体		
		8,422㎡ ( 8,422 ㎡)	0㎡ ( 0 ㎡)	0㎡ ( 0 ㎡)	8,422㎡ ( 8,422 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	16室	6室	7室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学研究科			15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を 含む 図書 53,523冊 〔3,824冊〕 学術雑誌 83種〔12 種〕 視聴覚資料 1,186点 電子ジャーナル2種 〔1〕
	看護学研究科	533〔107〕 318 54 (-266〔51〕)	0〔0〕 ( 0〔0〕)	1,694〔601〕 1,712 (-694〔601〕)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	
	計	533〔107〕 318 54 (-266〔51〕)	0〔0〕 ( 0〔0〕)	1,694〔601〕 1,712 (-694〔601〕)	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	491㎡		77席		70,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,844㎡		テニスコート4面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナルの整備(運用コスト)を含む
	教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	1,866 1,995千円	1,134 1,005千円	990千円	
	共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 700千円	第2年次 700千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	聖泉大学 大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
看護学研究科 看護学専攻	2	6	—	12	修士(看護学)		平成27年度	滋賀県彦根市肥田町 720		
大学の名称	聖泉大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
看護学部 看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)		平成23年度	滋賀県彦根市肥田町 720		
人間学部 人間心理学科 臨床・発達心理専攻 健康運動心理専攻 キャリア創造専攻	4	75	10	320	学士(人間心理学)		平成15年度	同上		
人間キャリア創造学科	4	—	—	—	学士(人間心理学)	—	平成20年度	同上	人間キャリア創造学科は、平成24年4月より学生募集停止	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	筒井 裕子	平成27年4月	生活支援看護学特論Ⅰ 生活支援看護学特論Ⅱ 生活支援看護学特論演習 特別研究						
専	教授	小山 敦代	平成27年4月	看護教育学特論Ⅰ 看護教育学特論Ⅱ 看護教育学特論演習 特別研究						
専	教授	城ヶ端 初子	平成27年4月	看護倫理 看護理論 看護教育学特論Ⅰ 看護教育学特論Ⅱ 看護教育学特論演習 特別研究						
専	教授	竹村 節子	平成28年4月	生活支援看護学特論Ⅰ 生活支援看護学特論Ⅱ 生活支援看護学特論演習 特別研究						
専	教授	太田 節子	平成27年4月	看護ケア開発特論Ⅰ 看護ケア開発特論Ⅱ 看護ケア開発特論演習 特別研究						
専	教授	森下 妙子	平成27年4月	看護ケア開発特論演習 特別研究						
専	教授	上野 範子	平成27年4月	看護ケア開発特論演習 特別研究						
専	教授	流郷 千幸	平成27年4月	研究方法論Ⅰ 研究方法論Ⅱ 発達支援看護学特論Ⅰ 発達支援看護学特論Ⅱ 発達支援看護学特論演習 特別研究						
専	教授	稲垣 絹代	平成27年4月	地域・精神保健看護学特論Ⅰ 地域・精神保健看護学特論Ⅱ 地域・精神保健看護学特論演習 特別研究						
専	教授	原田 小夜	平成27年4月	災害看護学 家族看護学 地域・精神保健看護学特論Ⅰ 地域・精神保健看護学特論Ⅱ 地域・精神保健看護学特論演習 特別研究						
専	教授	石田 英貴	平成27年4月	人類科学 機能形態学 研究方法論Ⅱ						
専	准教授	磯邊 厚子	平成27年4月	国際看護学 原書講読Ⅰ 原書講読Ⅱ 発達支援看護学特論演習						
専	准教授	間 文彦	平成27年4月	地域・精神保健看護学特論Ⅱ 地域・精神保健看護学特論演習 特別研究						
専	准教授	木村 知子	平成27年4月	リーダーシップ論 発達支援看護学特論演習※ 特別研究						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	安田 千寿	平成27年4月	生活支援看護学特論演習※ 特別研究						
			平成27年4月	特別研究	専		補充予定	平成27年10月	特別研究	
専	講師	大籠広恵	平成27年4月	地域・精神保健看護学特論演習						
兼任	講師	高橋 啓子	平成27年10月	発達心理学						
兼任	講師	竹村 節子	平成27年4月	生活支援看護学特論Ⅰ 生活支援看護学特論Ⅱ 生活支援看護学特論演習						
兼任	講師	餅田 敬司	平成28年4月	看護管理 看護政策論						
兼任	講師	井下 照代	平成27年4月	リーダーシップ論 看護管理 災害看護学						
兼任	講師	甘佐 京子	平成27年4月	コンサルテーション論						
兼任	講師	泊 祐子	平成27年4月	研究方法論Ⅰ 研究方法論Ⅱ 家族看護学						
兼任	講師	多賀谷 昭	平成27年10月	研究方法論Ⅱ						
兼任	講師	角野 文彦	平成28年4月	国際看護学						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成		年齢構成(前年度の状況)	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
8	5	13	8	6	14	65	7	—	—
7	( 5 )	( 12 )	[ ]	[ 1 ]	[ 1 ]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「—」を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1		該当者なし	
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成26年10月)	1. 設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の理論及び応用を成就研究するという大学院の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	本研究科の設置趣旨および目的が活かされるよう研究科教授会で、設置計画を確実に履行するように確認している。大学院開設に当たっては、大学院の授業を担当する専任教員が一堂に会して、趣旨・目的を再確認し打合せを行った。また、大学院担当教員は、十分な研究活動を確保しながら充実した教育を行い、その水準を向上できるようにしている。そのため、自己点検評価体制を確立するとともに、FD活動を積極的に実施し、部内外への研修を推進する。(27)	
	2. 養成する人材像として説明されている「看護実践リーダー」の趣旨に、「教育者」を含めて説明している箇所とそうでない箇所があり、統一的な説明がなされていないことから、養成する人材像の趣旨が明瞭になるよう大学としての考え方を整理し、学生に混乱を与えないようにすること。	留意事項	本研究科では、修士課程で研究の基礎的な能力を備え、修了後は看護実践現場における研究、教育を推進するリーダーの役割を担える人材を養成したいと考えている。看護実践現場との連携を強化した教育課程とし、特論演習におけるフィールドワークを取り入れる等、ストレートマスターも現場の課題から研究テーマを考えるように指導する。なお、平成27年度ストレートマスター入学者はいない。看護実践リーダーの養成に関しては、各領域の養成する人材像にもそのことを明確に位置付けており、学生には、4月の新入生ガイダンスで本研究科の設置趣旨・目的を周知するとともに適宜アドバイスをを行っている。	
	3. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえ適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	留意事項	教員組織の編成については、定年規程附則により70歳以上の教員が、数名残っているものの、定年規程の趣旨を踏まえ、採用・昇格人事並びに後継者育成計画を策定し、大学院における教育研究の継続性を担保できるようにしている。(27)	
	4. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項	平成27年度第2回のAC教員審査申請を6月に提出し、「特別研究」を担当する教員資格審査を受けるべく準備中である。(27)	

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>○入学選抜において英語による試験を課す代わりに「原書購読Ⅰ」及び「原書購読Ⅱ」を配置し、2年間で一貫して英語教育を行うのであれば、学生が学修を行う上で参考にすることができるよう、各科目の授業計画や成績評価基準をシラバスに具体的に記載し、科目配置の意図が明確に伝わるようにすることが望ましい。特に、「原書購読Ⅰ」のシラバスについては、各回の授業計画のうち2回目から7回目にかけて「専門領域におけるトピックスを読む」とあるだけで具体的な内容が不明瞭であることから、具体的な記載となるよう修正することが望ましい。</p>	<p>その他意見</p>	<p>「原書購読Ⅰ」の授業においては、院生各自の専門領域に関連のある文献やトピックス（資料）等を輪番制で翻訳し、他の院生とともに討論することによって、基礎的読解力を身に付けさせる。そこで学修した内容が各専門科目に反映されるよう、文献や資料等は、専門科目担当教員と連絡を密にして選ぶ。また、専門科目担当教員は、シラバスに参考となる文献等を紹介するなど配慮する。(27)</p>	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <看護学研究科 看護学専攻>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、全学的な組織として全学FD委員会を設置するとともに、本大学院看護学研究科の目的を達成するため、研究科教授会の下に部会を置き、教員の資質の維持向上に向け、教育方法、研究指導方法等の知識、技術の修得を目的に外部講師を招いて「研究科研修会」を実施するなど、組織的に取り組むこととしている。

開催状況：平成27年度 2回

構成員：研究科担当教員 6名(研究科長、副研究科長、教授3名、准教授1名)

c 部会の審議事項等

(1) 教育研究活動改善のための立案  
 (2) 教員の研修計画の立案・実施に関する事項  
 (3) FD活動の点検および評価  
 (4) その他必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ FD研修会

b 実施方法

FD研修会は、FD部会が独自に研修会を企画し、学外から招へいた講師又は本学教員を講師として実施する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

現在、開催日程を検討中

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施結果を踏まえた授業改善への取り組みについては、平成27年度中に検討予定。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、教育研究水準の向上を図り、社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を積極的に公表している。これまで大学開設（平成15(2003)年度）後、平成17(2005)年度版自己点検・評価報告書にはじまり、平成19(2007)年度版、平成22(2010)年度版を発行し、カリキュラムや授業内容を見直し、教育研究環境を整備するなど、その改善に努めてきた。平成24(2013)年度より「教員の個人評価」を実施しており、本研究科においても、教員個人の教育・研究等の諸活動について自己点検・評価を実施することにより、教員の教育研究等の質の向上を目指している。教員の「教育的側面」、「研究的側面」、「地域・社会貢献の側面」及び「学内貢献の側面」等4側面の活動状況について、「自己評価表」を作成することになっている。また、本研究科においても学部で実施している学生授業アンケートを実施し、その結果を教員にフィードバックすることにより、教員の教育力向上と授業改善につなげる。授業アンケートの評価結果についても教員の個人評価の対象とする。これらの自己点検・評価を行い、教育研究活動等の改善を図るものとする。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成28年3月末 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年3月末を予定）

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

##### b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 27年6月1日 )